

令和6年8月度栗東市教育委員会臨時会会議録

開催日時 令和6年8月30日（金） 10:00～11:50
開催場所 庁舎 2階 第1会議室
出席委員 教 育 長 今井 義尚
教育長職務代理人 朽木 徳壽
委 員 内記 一彦
委 員 田中 和子
委 員 多田 玲子
事務局出席者 教育部長（太田）、教育総務課長（田代）、学校教育課長（中川）、学校教育課参事（山口）、学校教育課課長補佐（森）、書記（小林）

会議を傍聴した者 一般傍聴者 2人 市政記者等の傍聴者 0人

開会宣言 10:00

教育長

定刻になりました。令和6年8月度 栗東市教育委員会臨時会を始めるにあたりまして、本日は、傍聴の申し出が2名ありましたので、栗東市教育委員会傍聴人規則第2条により、傍聴人を入場させてください。

（傍聴人入場）

教育長

皆様、こんにちは。傍聴人は、注意事項を遵守いただくようお願いします。なお、注意事項に違反したときは、退場を命じることがありますので、よろしくお願いいたします。

ただ今より令和6年8月度 栗東市教育委員会臨時会を開会します。日程に従いまして、進めさせていただきます。

日程2 議案第8号「令和7年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」事務局より説明をお願いします。

学校教育課長

議案第8号「令和7年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」を説明申しあげます。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになって

おります。

資料2をご覧ください。

1ページ～2ページには、本市が所属する、教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。

次に本日議決を求めることならびに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明いたします。3ページが今年度の経緯となっております。

本年度は、中学校用教科書全教科の採択替えの年であります。また、小中学校「特別支援学級一般図書」の採択替えも行います。現在までに、協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。併せて、5月28日から7月10日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月31日ならびに8月1日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、8月1日には第二採択地区としての議決を行いました。

資料1をご覧ください。

小学校は、2ページ～3ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。4ページ～7ページは、特別支援学級で使用するものの一覧です。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用については、保健において『ドキドキワクワク性教育②大切なからだ・こころ』が新たに選定されました。社会科では、『なりたい！ わくわく！ おしごとずかん』が調査委員会から推薦されましたが、職業におけるジェンダーへの配慮に欠けていることから、選定が見送られました。

続いて、中学校は、8ページ～9ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。中学校 特別支援学級の一覧は、10ページ～12ページです。

社会科において『小学生おもしろ学習シリーズ 完全版日本の歴史人物大事典』、理科において『小学館の図鑑 NEO 野菜と果物』の2冊が新たに選定されました。なお、弱視学級については、小中学校とも、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

つづいて資料3をご覧ください。

特別支援学級用を除く教科については、教科ごとの調査研究観点と各発行者の調査研究結果を記載しています。

教育長

議案第8号について事務局より説明がありました。

それでは、協議会において、各教科調査委員長より報告されました調査結果の概要について担当より説明をお願いしますが、各教科の説明を聞いた後、教科毎に質疑を行います。そ

れでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

教育長

事務局の方はそれで構いませんか。

学校教育課長

結構です。

学校教育課課長補佐

それでは、協議会にて調査委員会から報告されました教科用図書の調査委員会報告について、ご説明申し上げます。

まずは、国語でございます。資料3の1ページからご覧ください。

各社の特徴的な研究結果を申しあげ、その後、採択候補となるべき教科書をあげさせていただきます。

まず、最初に「東京書籍」です。

「読むこと」の学習に関連して、教材の欄外に文章中から語句を取り上げて示したり、「広がる言葉」というスペースを設けて語句を活用する場面を設けたりすることで、語句を豊かにする工夫がされていました。言語活動の各過程の具体例や完成作品例、対話の例が豊富で、支援を必要とする生徒にとっては参考、模倣という点で有効であります。しかし説明や討論に関しては例が少なく不十分さを感じました。

次に「三省堂」です。

グラフや図表等の情報と文章とを関連付けながら、自分の考えを深める「情報の扱い方」に関する単元が各学年に設けられていました。現代的な諸課題に対応した教材が配置されていましたが、SDGs との関連についての説明が不十分に感じました。

次に「教育出版」です。

情報を扱う単元と、「書く」「話す・聞く」等の他の言語活動とが関連付けられており、学びを深めるものとなっています。資料やイラストにおいて、国籍・性別などによる偏りがなく、身体的な特徴の表現に配慮を感じました。しかしながら、教材文の要旨や趣旨が分かりづらいものもあり、「読む」という観点で授業を行う際に授業者にとって扱いづらい面を感じました。

次に「光村図書」です。

「話すこと・聞くこと」の領域では、テーマや例が中学生にとって取り組みやすい題材を取り上げて活動が設定されており、目的意識をもって学習に取り組めるよう工夫されています。また、日常の言語生活から題材を取り上げ、生きて働く言語力の育成が図られています。

SDGs に代表される現代的な諸課題を題材として、幅広い学習内容が取り扱われておりました。

調査をもとに協議した結果、国語は「光村図書」に決定しました。

光村図書は、先ほどの説明に加え、「書くこと」の領域では、「書くことミニレッスン」の練習問題を通して書き方の基礎・基本を確認した後に学習活動に取り組めるよう構成されています。「読むこと」の教材は、分量が適切であるとともに、共感しやすい内容となっています。読みもの教材の学習活動にも「話し合い」が多く取り入れられております。

以上です。

教育長

では、「国語」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

田中委員

様々な情報を正しく理解・整理して、伝える「読み解く力」の基盤にもなる読書についての光村図書の良い点はどのようなところですか。

学校教育課課長補佐

「ポップ作成」「ブックトーク」「ブックレビュー」等、多様な読書活動と国語科の学習とを結びつけて紹介されています。また、発達段階に合わせた多様なジャンルの図書が3学年で447冊紹介されております。

朽木教育長職務代理者

他にも光村図書が適している点がありますか。

学校教育課課長補佐

SDGs を通して現代的な諸課題を幅広く取り上げております。3年間の中でSDGsの17の全目標について関連した教材を学習できるように配置されています。

教育長

ほかに国語についての質問はよろしいでしょうか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 国語の採択について、「光村図書」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「書写」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

つぎに、書写につきまして、9ページからご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

教科書が B5 変形版を採用しており、半紙と同じ縦横比率（じゅうおうひりつ）を実現しているので、お手本として活用しやすいものとなっております。また学習のポイントが「書写のかぎ」としてまとめられているとともに、学年ごとに振り返りや身に付けた知識・技能の定着と学力の向上を図ることができるような工夫も見られます。

次に、「三省堂」です。

毛筆で学んだことを硬筆に生かす項目が目標ごとに設定されています。さらに色覚の特性に配慮し、誰もが見やすく学びやすい配色となるよう工夫されています。しかし、言葉での説明が中心で視覚的な支援に乏しいことや、3年生では書く機会が少ない点が気になります。

次に、「教育出版」です。

学習の流れがわかりやすく明示されており、さらには「話し合い」活動を通した書写の学びができるよう工夫されています。毛筆での学習と硬筆を関連付けて書いてみる「試し書き」「まとめ書き」の設定は、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるように構成されています。

次に、「光村図書」です。

運筆の示し方が擬態語を用いてイメージしやすくなっています。手書きの良さや文字の使い分けの理由について考える思考や対話を学習の中心とした活動も紹介されています。しかし別冊「書写ブック」が設けられているものの、分量が多く活用方法が難しいです。

調査をもとに協議した結果、書写は「教育出版」に決定しました。

教育出版は、先ほどの説明に加え、現代的な課題が多く取り上げられているとともに、現代社会の多様性を踏まえ、イラストや図版、教材の文言等を含め、教科書内の表現に配慮されています。

以上です。

教育長

では、「書写」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

内記委員

現代社会の多様性を踏まえとありましたが、具体的にはどのような内容ですか。

学校教育課課長補佐

教材の生徒名やキャラクター・写真の男女比など多様性に適切な配慮がされています。「学

びリンク」では左利き生徒用の毛筆用具の置き方や筆の持ち方の動画もありました。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 書写の採択について、「教育出版」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「社会」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

社会につきまして、17ページからご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。社会は3分野、地図帳を含め4冊の調査を行いました。まずは「地理的分野」と「地図帳」の調査報告をいたします。先に「地理的分野」

「東京書籍」です。

地理的な見方や考え方、概念などの基礎・基本を習得する教材・学習活動が数多く掲載され、用語解説やコラムの「もっと知りたい」、「スキルアップ」など、生徒の関心を高めたり、技能を身に付けたりする学習が充実していました。写真の色は明るく、見やすい構成で、章ごとにインデックスを色分けして、使いやすく工夫されていましたが、サイズがやや小さく見にくいという意見がありました。

次に、「教育出版」です。

社会的事象の意味や意義、特色や相互関連を多面的・多角的に考察するため、複数の国や地域のことを取り扱った資料が充実しています。また、各章・節末（せつまつ）にある「学習のまとめと表現」では、課題解決に向けて選択・判断する資質・能力を育成できるとともに、学習したことを活用して議論し、解決方法をまとめる対話的な学習活動が設定されています。「地理の窓」ではSDGsに関連する内容が数多く記載されていますが、何と関連しているか明記されず、SDGsの視点を自覚しながら学習を進める工夫が少なかったです。

次に、「日本文教出版」です。

地理的な見方や考え方、概念などの基礎・基本を習得する教材・学習活動が数多く掲載されています。「スキルup」や「資料活用」など、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる内容も多く掲載され、技能を身に付ける学習内容が充実しています。しかし、側注（そくちゅう）がなく、基本的な語句の理解を定着させることが難しいという意見がありました。「地理+α」のコラムでは、環境や自然災害などについて掘り下げ、深い学びが

できるよう工夫されていましたが、もう少し数が多い方がいいという意見もありました。

次に、「帝国書院」です。

「技能をみがく」や「やってみよう」、「資料活用」など、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる内容が数多く掲載されていました。加えて、「地図帳活用」で、教科書と地図帳との関連を示し、地図帳を活用する技能を身に付けることができる構成となっています。鮮やかな写真がレイアウトされ、学習意欲がわく構成であり、インデックスも章ごとに色分けされており、使いやすい工夫がなされています。

続きまして、地図帳です。

まずは、「東京書籍」です。

歴史的分野や公民的分野との関わりを持たせ、社会科の学習内容を結びつけて考えられるよう工夫されています。SDGs に関する特集ページも設けられていますが、個々の資料について、SDGs のどの分野に関するものなのかの説明がされておらず、わかりにくいところが惜しい点でした。

次は、「帝国書院」です。

地図をもとに確認したり、深めたりする問いが数多くあり、基礎的な内容から発展的な内容まで、さまざまなレベルで問題が構成されていて、生徒が主体的に学習を進められるように工夫もされています。はっきりとした色使いで文字とのバランスもよく、とても見やすく、資料ページは地図のほかに、写真やイラスト、主題図が豊富で、視点を変えて学習できるように工夫されています。

調査をもとに協議した結果、地理的分野は「帝国書院」に決定しました。

地図帳は両社とも様々な工夫を凝らした地図帳でありましたが、総合的に判断して、「帝国書院」がふさわしいのではないかという結果に至りました。

以上です。

教育長

では、「地理的分野」「地図帳」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

多田委員

「地理的分野」において「帝国書院」のよかったところをもう少し教えてください。

学校教育課課長補佐

用語解説や側注（そくちゅう）・コラムなどが数多く充実しており、单元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され、学習内容の深い定着が図れる構成となっているところも評価が高かったです。

内記委員

「地図帳」にもQRコードがたくさんついていますが、どのように活用するのですか。

学校教育課課長補佐

自然環境や農業・工業などに関連した地図資料や動画を学習用端末で見ることができます。また、地図帳では調べたい内容を探ることが難しい生徒は、学習用端末で探すことができ、生徒が調べやすいようにQRコードがついています。さらに、小学校の振り返りやリンク集もあり、生徒の習熟度にあわせた活用ができます。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 社会「地理的分野」「地図帳」の採択について、「帝国書院」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「歴史的分野」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

社会「歴史的分野」につきまして、31ページからご覧ください。

では「歴史的分野」の調査報告をいたします。

まず「山川出版」です。

山川出版は、個別の歴史的事象の定着を目指し、世界との関連も強く意識した内容構成で、記述も詳細です。毎時間の学習課題の設定はありますが、各章や節（せつ）を貫く単元の問いの設定は見られませんでした。

次に「自由社」です。

歴史に関わる事象について、多面的・多角的に考察できるように、写真や絵、グラフ、地図などの資料が多く掲載されています。ただ、自由社も各章や節（せつ）を貫く単元の問いの設定がなく、生徒が見通しをもって、主体的に学習を追求していくことが難しいという意見がありました。

次に「育鵬社（いくほうしゃ）」です。

単元を貫く問いが設定され、各ページに記載されています。各章ごとの「学習のまとめ」は、各時代でもっとも重要な人物や出来事を自分で選び、その理由を考える課題が設定されており、さまざまな視点で歴史的事象を考察することで学びを深める工夫が見られました。しかし、各ページの「確認」は、教科書本文より抜き出すように課題設定されており、生徒の自由な思考にはつながりづらいと判断しました。

次に「学び舎（まなびしゃ）」です。

各章の扉に、各地域の様子や繋がりを視覚的に捉える図や大きく時代を見渡す学習課題を設け、時代の特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できるよう工夫がなされていました。また、各章や部の学習のまとめに、対話的な活動が設定され、交流のなかで意見を深める工夫もなされていました。ただ、他社の教科書と比較すると章の最初に示された学習課題と毎時間の学習課題との関連付けや、生徒に深い思考を促すための仕掛けが少ないように感じました。

次に「令和書籍」です。

「国史」とあるように主に日本の歴史について詳しく記述されていました。知識量が多く、内容の難易度も高く、文字数も大変多くなっています。各単元の課題設定はありますが、単元を貫く問いの記載がなく、また、課題の内容と本文の内容とが区別しにくい配置になっており、課題の内容も中学生にとって難しいものが多いと感じました。

「東京書籍」「帝国書院」「日本文教出版」の3社について、政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置し、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすいことや、思考力・判断力・表現力を養うための内容や工夫がなされていること、生徒が見通しを持ちながら主体的に学習を進めることができ、毎時間の振り返りや各章のまとめや振り返りがしやすく、取り組みやすい内容になっており、総合的に優れているという意見が多かったです。この3社について、デジタルコンテンツの使いやすさという面で比較しました。東京書籍については、各ページにQRコードが設定されており、内容に関連したデジタル教材が豊富で、教科書資料の拡大版などが授業で活用しやすいと意見がありました。帝国書院について、QRコードは各ページにないのですが、デジタルコンテンツでは特にNHK for Schoolの動画が豊富に用意されていました。

3社の中で一番デジタルコンテンツが充実していたのは、日本文教出版の教科書でした。各編の節の最初にあるデジタルコンテンツ「イントロダクションムービー」は、学習への導入にとっても効果的であることや各ページにQRコードが設定されており、本文の内容に関連したデジタル教材が豊富に準備をされています。授業において、内容の全部を見せるだけでなく、一部を見せる使い方をすることもでき、まとめの確認テストの内容も使いやすいものとなっているなど、各コンテンツの使いやすさが他の2社と比較すると際立っていました。現在、授業で生徒は一人一台端末を使っています。時代にマッチした歴史の授業づくりを生徒と教員が新しい教科書を使って進めていくための視点も大切になってきます。

これらのことを総合的に判断し、社会「歴史的分野」については、「日本文教出版」がふさわしいのではないかという結果に至りました。

以上です。

教育長

では、「歴史的分野」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

田中委員

デジタルコンテンツ「イントロダクションムービー」とありました。もう少し詳しく説明してほしいと思います。

学校教育課課長補佐

「イントロダクションムービー」は第2編から第6編の学習の初めに確認する動画です。前編から本編へのつながりや本編でどのような学習をするのか大まかな内容を確認し見通しが持てます。デジタルコンテンツは他に、確認小テストやワークシート、関連動画もございます。

教育長

他にご質問等はございませんか。

学校教育課課長補佐

それでは、令和7年度使用教科用図書 社会「歴史歴分野」の採択について、「日本文教出版」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて社会「公民的分野」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

「公民的分野」につきまして、47ページからご覧ください。
各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

新学習指導要領が求めている3つの観点の学習内容箇所をバランスよくふんだんに盛り込んでおり、総合的には高評価の教科書です。デジタルコンテンツも充実して工夫が感じられました。しかし、「トライ」や「ふり返ろう」「深めよう」の課題設定の難易度が高いと感じました。また、紙面に多くの情報を掲載するにあたり、文字量が増え、注釈やコラムのフォントが小さくなるなどの点が気になりました。

次は、「教育出版」です。

「Look」で興味・関心を持たせたり、「確認」で毎時間の知識・理解の習得を促したりする工夫をはじめ、社会的事象を多面的・多角的に考察させる発問等が考えられていました。ただ、資料を活用する技能を必要とする学習が少ないことや課題解決のテーマにやや難しいと感じられるものがありました。

次は、「帝国書院」です。

「対話」「資料活用」「確認しよう」などの提示で、学習活動の内容がわかりやすく、「節の振り返り」や「章の振り返り」も適度な量となっていて取り組みやすさを感じました。「アクティブ公民AL」の考えさせる題材も、生徒が取り組みやすい今日的なものとなっています。特に、単元の導入「学習の前に」では、生徒が単元を見通し、学習意欲を喚起させる工夫と配慮がなされていました。

次は、日本文教出版です。

「明日に向かって」「アクティビティ」「チャレンジ公民」においては、身近で関心の強い課題が設定されており、生徒の社会参画への動機づけとなる内容が豊富でした。デジタルコンテンツも工夫されています。しかし、単元全体のまとめにおける「確かめよう」「振りかえろう」「深めよう」の課題設定の難易度が高いと感じました。

次は、「自由社」です。

「ミニ知識」や「ここがポイント」で、内容をより深く理解させ知識の幅を広げる工夫や「やってみよう」や「学習のまとめ」「学習の発展」などで、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がされています。しかし、課題の難易度が高く設定されていることや文字の大きさや資料の記載量、配置などに丁寧さが不足しており、写真資料は少々古さを感じました。

次は、「育鵬社（いくほうしゃ）」です。

学習内容に関連した今日的な情報が紹介されていて事象が理解しやすいこと、「確認」における学習内容の定着を図る工夫や「見方・考え方」「やってみよう」などで考えを深める工夫がされていたり、「学習のまとめ」で重要語句の基礎的知識の定着を図る配慮がなされていたりすることなどは評価できます。しかし、「学習のまとめ」では、スモールステップによる課題を解決するための活動の設定が十分ではありませんでした。

調査をもとに協議した結果、公民的分野は「帝国書院」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「公民的分野」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

多田委員

「帝国書院」の「アクティブ公民AL」について具体的に教えてください。

学校教育課課長補佐

具体的な主題を設定して、「主体的・対話的で深い学び」を実践する特設ページです。現代社会の見方・考え方を働かせて自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりしながら学びを深めることができ、10の主題が設定されています。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 社会「公民的分野」の採択について、「帝国書院」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「数学」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

数学につきまして、58ページからご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

導入問題では題材や課題解決の条件設定、イメージの持たせ方や切り口が工夫されていて、生徒が学びに向かいやすいものとなっています。しかし、フォントが大きく、内容が豊富であるがゆえに見にくさを感じます。説明が簡潔にまとまりすぎて、数学に苦手意識を持つ生徒にとっては説明が十分でないと思われました。

次に、「大日本図書」です。

「活動」「例」「例題」が適切に配置され、調べて見いだす、考える、解決するといった学習の流れが分かりやすく、知識・技能が定着し易い構成になっています。しかし、取り上げられている資料やデータ、話題に古さが感じられ、デジタルコンテンツとの連携が十分でないようにも感じました。

次は、「学校図書」です。

「Question」に数学的活動で学びを深められる問いと、働かせたい見方・考え方のヒントが示され、見通しを持ち筋道を立てて論理的に考察できます。節の最初に「目標」、最後に「どんなことがわかったか」が明示され、学びのスタートとゴールが分かりやすい構成にもなっています。

次に、「教育出版」です。

「例、例題」と「問、練習問題」の間に「例、例題」に類似した「たしかめ」があり、段階的に理解が深まる構成になっています。また、代表的な問題が網羅的に配置され、説明も段階的になっているので、自学自習にも適しています。しかし、説明や気付きに使われている吹き出しの内容が丁寧すぎて、生徒自身の気付きや発見につながらず受け身になってしまうとの意見がありました。

次に、「啓林館」です。

問題を解く際に考え方に注意が必要な問題や深く考える必要がある問題が適切に配置され

ています。全体的に課題や問題の難易度が高く、さらに思考力・判断力・表現力および学びに向かう力等の観点に関する課題や活動の量も限られているため、数学に苦手意識を持つ生徒が段階的に学ぶことが難しいと感じました。

次に、「数研出版」です。

各章の前に「ふりかえり」があり、既習事項を確認し、新しい学習をスムーズに進めるための工夫が見られます。対話形式も含め説明がすべて丁寧に書かれているため、たいへんわかりやすくなっている反面、気付きや発見につながりにくく受け身になってしまう場面が多くなるという意見がありました。

次に、「日本文教出版」です。

「Q」「めあて」「例」「問」と段階的に学習を進めることで、基本的な知識・技能を身に付けることができます。しかし、自分の考えを表現したり説明したりする学習活動や様々な場面で数学を活用する内容を扱っている課題が少なめであったように感じました。

調査をもとに協議した結果、数学は「学校図書」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「数学」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木教育長職務代理者

決定した「学校図書」について、先ほど説明していただきましたが、他にも良いところを教えてください。

学校教育課課長補佐

例題の解答をノートに書いたような形式で表してある部分があり、問題を解く際に生徒がどの様にノートに記入すればよいのか参考になります。また、文字の大きさやフォントの選択は適切であり、色使いも優しく見やすい、問題量や学習の構成もバランスが良いという意見がありました。

教育長

他にご質問等はありませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 数学の採択について、「学校図書」でご異議はありませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「理科」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

理科につきまして、68ページからご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

「観察・実験」では、作業内容を写真で示し、操作を分かりやすく記載しています。「結論」をまとめる場面においては、「理科の見方・考え方」を示すなどして、生徒の思考力や表現力を向上させる工夫がなされています。環境問題への対応に関して、コラム等にもう少し記載があれば良いという意見がありました。

次に、「大日本図書」です。

各単元の導入部には、「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」を示し、生徒が見通しをもって学習できる配慮がなされています。QRコードは、ダイレクトに動画やワークシートなどにアクセスでき、活用しやすいものとなっています。ただ、QRコードの設定数については、やや少なめで、もう少し多いと活用の幅が広がるという意見がありました。

続いて、「学校図書」です。

Webページにおいて、教科書が多言語表示できる仕様となっており外国人生徒の学びを支援する配慮が見られます。一方で、観察・実験に関する記述については、課題設定から振り返りまでの過程を丁寧に示してはいますが、複数ページに渡っていることにより、生徒にとっては学習の見通しが持ちづらい面があるように感じました。

次に、「教育出版」です。

各巻の巻頭には「探求の進め方」で、探究活動の進め方を示すとともに、この部分を折り込みにするすることで、探求の流れを確認しながら全ての観察・実験を進められるような作りになっています。観察・実験後の記載において、「結論」が明確に記されていたり、「私のレポート」でレポート例を詳細に記述していたりすることは、生徒にとってわかりやすい反面、生徒が自らの探究活動を通して、思考しながら概念を形成し、理解を深めていくことにはつながりにくいという意見がありました。

次に、「啓林館」です。

「学ぶ前にトライ！」で、単元に関わる身近な現象を取り上げることで、生徒の学ぶ意欲が高まるよう工夫されています。掲載されている写真や画像は、資料集としての活用も可能なレベルで情報量も多いことから、様々な視点から考察することができ、生徒の気づきや理解を広げる上で有効となるよう構成されています。

調査をもとに協議した結果、理科は「啓林館」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「理科」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

田中委員

どの教科書も様々な実験の手順について、丁寧にヒントを記載されて、安全に配慮したものとなっています。丁寧すぎるほど記載されていますが、その辺協議ではどのような話題になっていたのでしょうか。

学校教育課課長補佐

安全に実験を行い学ぶことが第一なので、協議の際に安全に実験を行える注意書きに注目しました。実験の手順は、実験中何度も見直すため、視覚的に、短時間で確認できることが大切なので、あらゆる実験で見比べ調査いたしました。5社とも工夫して注意書きをし、視覚的に見やすい手順を示していました。中でも「啓林館」の実験の手順が見やすく、危険な行程は「！」で記述されていて生徒には分かりやすいのではという意見が多かったです。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 理科の採択について、「啓林館」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

ではここで、10分間の休憩を入れさせていただきたいと思います。

その間を利用しまして、委員の皆様には、後ほど説明のあります特別支援学級の一般図書をご覧いただきたく存じます。

11時00分より再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

(10分程度 休憩・閲覧)

教育長

それでは、時間になりましたので再開いたします。

続いて「音楽一般」「器楽合奏」の説明をお願いします。

学校教育課参事

音楽一般につきまして、80ページから、器楽合奏につきましては86ページからご覧ください。

それでは、「教育出版」と「教育芸術社」の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

音楽一般について、両社とも「主体的に活用できる基礎的技能の習得」においては、写真や挿絵で視覚に訴えながらわかりやすい解説がなされていました。「教育出版」は歌唱の技能や指揮の方法の記述について、1年の教科書は詳細な説明がありましたが、記載されていない学年がありました。「教育芸術社」は発達段階に応じて、3年間の系統性がわかる解説がされていました。

また「いろいろな演奏形態による教材数」については、掲載されている曲数に若干の違いはあっても、両社ともそれぞれ生徒の音楽への興味、関心を高める多様な教材が、工夫して配置されていました。

「音楽を形づくっている要素」と知覚・感受とのかかわりについて考える活動の配置については、「教育出版」は「Active!」というコーナーを設けて、「教育芸術社」は「学びのコンパス」というコーナーを設けて配置しています。「教育出版」は配置数がやや少なく、「教育芸術社」は配置数が多く、生徒の思考の深まりが期待できる内容でありました。

調査をもとに協議した結果、音楽一般は「教育芸術社」に決定しました。

器楽合奏は、両社とも「知識の習得」についての配置において、「教育出版」は「吹く（弾く）楽器の仲間たち」では、幅広い知識の習得について配慮があり、「教育芸術社」は、「楽器を知ろう!」において、楽器の歴史を丁寧に記述しており、それぞれに創意工夫がありました。

「生徒の楽譜の理解を深める記述」について、両社とも楽譜に注釈や説明があり、楽譜や楽曲の理解を深める工夫がありました。両社とも、箏（こと）の楽譜は、五線譜と縦譜を掲載していましたが、「教育出版」は、同じ楽器の楽譜や奏法の記述が複数ページにわたっており、活用しにくい箇所がありました。

調査をもとに協議した結果、器楽合奏は「教育芸術社」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「音楽一般」「器楽合奏」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木教育長職務代理者

音楽科の学習は「歌う」「演奏する」「鑑賞する」など様々ありますが、作曲などの「創作」の学習は音符が分からないと前向きに取り組むことが難しい生徒も出てくると思われます。どんな工夫をされているのでしょうか。

学校教育課参事

いただいたご意見のとおり、歌う、演奏する、創作の学習では、基礎的な知識・技能の習得が重要です。「教育芸術社」の「創作」についてはデジタルコンテンツと連動しており、

読譜が苦手な生徒も意欲的に学べるようになっていきます。音符や休符の習得が不十分であっても、カタカナで記載している音階から選択し、作曲できる仕組みになっています。選んだカタカナの音階が自動的に音符になり、創作活動を通して音符や休符に触れ、身に付けられるように工夫されています。

器楽合奏の教科書についても先に述べました楽譜に注釈や説明があることや、QRコードを読み取り伴奏を聞いて個人学習に取り組めるなどの工夫がございます。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 音楽一般・器楽合奏の採択について、「教育芸術社」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「美術」の説明をお願いします。

学校教育課参事

美術につきまして、90ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。調査委員長からは3社三様の特徴があり、また一長一短があるものの、概ねどの教科書も大きく差がなく、選定には大変苦慮したのと報告がありました。

まず、「開隆堂出版」です。

小見出しにおける問いかけや作品の視覚的なものの中から技法の工夫を読み取っていく仕組みとなっておりました。キャラクターの吹き出しや作者の言葉から気づきを促す補助的な工夫がされていましたが、文章による解説はやや不足していると感じました。生徒に考えさせる幅の広さはよいと思いますが、苦手意識の強い生徒にとっては自らが読み解く作業を断念してしまうのではないかという懸念が残りました。

次に、「光村図書」です。

別冊資料として、技法を分かりやすくまとめ、思考や制作段階においてそれぞれが必要な情報を取り出し、表現活動に活かしていけるものがついております。また、資料と解説のバランスもよく、すっきりしたレイアウトで分かりやすくまとめているので、自らが理解し技法を試していくことができそうです。教科書にはPOINTの提示や「みんなの工夫」という制作工程の掲載から、思考から表現への自然なつなぎ役となっているのもよさであると感じました。

次に、「日本文教出版」です。

鑑賞の入り口の提示により資料や作品から自己との対話場面が設定されています。また、表現活動においては素材や題材の奥深さが感じられるような構成になっているので、自己との対話は深められそうです。ただ、他者との言語活動という点では、場面設定はやや少なく、もう少し対話場面の設定があれば、生徒の思考が深まるとの意見がありました。

調査をもとに協議した結果、美術は「光村図書」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「美術」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

内記委員

調査委員長からの３社三様の特徴、一長一短の報告について、「光村図書」が決め手となった事柄はどんな内容ですか。

学校教育課参事

「光村図書」は、別冊資料の新設に伴う充実した補助学習材料の提示や、豊富な写真や図版の掲載、見やすさ、本物を感じさせる紙質の工夫、バラエティに富んだレイアウトの仕方など、生徒がつい次のページをめくりたくなるようなわくわくさせる工夫が随所に見られた点が調査委員の目にとまりました。さらにデジタルコンテンツでは他で見ることのできない貴重な資料が収録されていたり、体験を通して色や構図のしくみを理解させたりするような工夫が施されていたことも決め手となりました。

教育長

美術については、以上とさせていただきます。

それでは、令和７年度使用教科用図書 美術の採択について、「光村図書出版」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「保健体育」の説明をお願いします。

学校教育課参事

保健体育につきまして、９６ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

運動やスポーツと生活との多様なかわり方について、グラフや絵などを使用し、様々な場面で多様な関わり方が示してあります。「活用する場面」が設定されており、運動やスポーツを自分ごととして捉えやすくなるよう工夫がなされていました。

次に、「大日本図書」です。

資料や図などを使い、身近な課題や発見につながるように工夫されています。「学びを活かそう」では単元ごとに仲間と共に振り返りを行いやすい工夫がありました。自分の考えを記入する箇所も設けられており学びを深めやすい内容であるという意見がありました。

次に、「大修館書店」です。

カラフルなページが多く、個人でイメージをもってグループ活動に取り組みやすい工夫がなされています。「章のまとめ」には、思考・判断・表現に関するページが設けられ、振り返りを行いやすい工夫がなされていました。

次に、「学研」です。

健康の保持増進につながる生活の1つ1つの行動が、体と心の健康と結びついていることが分かるように説明されています。単元ごとの「学びを生かす」で毎時間考えられるところがあり、分かりやすい内容となっていました。

どの教科用図書も、中学校学習指導要領保健体育科の趣旨や要点、内容等を網羅しており、それぞれの構成も適切で、表記方法にも工夫がなされていました。総合的に協議を行い、高い評価を得られたのは「大修館書店（たいしゅうかんしょてん）」の教科用図書でした。生徒自身が身近に感じられるような工夫がなされており、生徒同士で話し合う、表現する活動を多く取り入れやすく、伝える力を養うことができる学習活動が充実しています。様々な健康や日常生活での課題に対して、解決方法を思考し、そこから適切な方法を判断できるような資料が用いられています。

以上のように協議した結果、保健体育は「大修館書店（たいしゅうかんしょてん）」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「保健体育」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

多田委員

保健体育では、どの教科書も充実していると感じたのですが、「様々な健康や日常生活での課題」という、健康や日常生活の視点についてもう少し説明をしてください。

学校教育課参事

中学生の発達段階における日常生活の視点がたくさんございます。それはスマホの使用や性の多様性、自転車で通学することなど様々です。「大修館書店（たいしゅうかんしょてん）」の教科書は、これらの視点と学習内容とを結びつけた構成となっておりますので、生徒にと

っては身近にある課題なので考えやすいです。特にLGBTQの視点から、制服についても取り上げられており、性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩みなど「性の多様性」についての話も掲載されています。

教育長

保健体育については、以上とさせていただきます。

それでは、令和7年度使用教科用図書 保健体育の採択について、「大修館書店（たいしゅうかんしょてん）」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて技術と家庭の説明をお願いします。

学校教育課参事

まずは技術分野につきましては、102ページからとなっています。

それでは、技術分野の各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

全ページで基本要素の配置を統一しており、生徒にわかりやすく、教師にとっても教えやすい紙面デザインとなっています。また、「目標」「レッツスタート」「学習課題」「本文、図版」「活動」「まとめの活動」の一連の学習内容が見開きで示され、大変学びやすくなっており、必要な資料は別に詳しくまとめられている構成となっています。これは、授業時数が35時間の技術科において、必要内容を効率よく生徒に理解させ、深い学びを展開するためにふさわしい構成であるという意見がありました。

次に、「教育図書」です。

基本的な内容を厳選して掲載し、小項目を複数のページに分けて詳しく説明しています。教科書と技能資料(スキルアシスト)に分かれており、授業の切り替えが生徒に伝わりやすくなっています。技能資料には生徒目線に立った詳しい説明と図版があり、生徒の作業効率が高まることが期待できます。しかし、冊子が別れていることで、技能資料を手にとって開くのに時間がかかったり、紛失したりすることが心配されます。

続いて、「開隆堂出版」です。

見開きで示される実習例が問題解決の4つの手順で明記されていることで活動に取り組みやすくなっています。また、持続可能な社会の実現に向けて、環境マークで関連するポイントを示し、各内容においてSDGsとの関連を考える機会となっています。しかし教科書の小口に「つめ」がなく、やや検索性が低く生徒が教科書を開くのに時間を要するのではという意見がありました。

調査をもとに協議した結果、技術分野は「東京書籍」に決定しました。
続いて家庭分野につきましては、108ページからとなっています。家庭分野の各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まずは「東京書籍」です。

「よりよくする工夫」を学ぶとともに「考えてみよう」では、発展的な学びを生徒なりにつないでいけるような提案がなされています。学びや身につけたことや課題を生活に生かそうとする発問が少ないとの意見がありました。

次に「教育図書」です。

「見つめる」「見つめてみよう」では、自分の生活の中にある問題・課題を発見し、自ら解決にむけて取り組むための学習の例が提示されており、問題解決能力を高めるために工夫されています。しかし、調理や裁縫の基礎技能のページでは丁寧に示されていますが、文字数が多く説明が読みづらいことで、読むことが苦手な生徒にとっては負担になるという意見がありました。

続いて、「開隆堂出版」です。

知識および技能を実生活で活用するために、各章末で学習を振り返ることができる構成となっております。基礎的・基本的な知識を身に付ける内容掲載が多く、参考資料などから易から難まで習得できるように工夫されていました。また、実際の地域の取り組みや、中学生の取り組みを紹介することで、身近な課題を発見し、解決していく手がかりとなるような工夫がされていました。

調査をもとに協議した結果、家庭分野は「開隆堂出版」に決定しました。

以上です。

教育長

では、技術と家庭の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木教育長職務代理者

技術の教科書について、どの教科書も作業手順などは分かりやすく写真や図で示されています。どのように比較しながら協議を進められたのでしょうか。

学校教育課参事

ご質問のとおり3社とも生徒が作業しやすいように工夫されていました。「東京書籍」と「開隆堂出版」は作業ごとに見開きでまとめられ、細かく安全や作業ポイントの記載がありました。「教育図書」は作業工程について一連の流れを写真で示し、作業ポイントを記載しております。作業手順では優劣はつけがたく、先ほど説明いたしましたポイントで「東京書籍」に決定しました。

田中委員

家庭科につきまして3社ともSDGsをはじめとして、キャリア教育、防災教育などに発展的な学習が可能な教科書となっていますが、選ばれました「開隆堂出版」はどのように調査されましたか。

学校教育課参事

3社とも様々な教育につながるよう工夫され、キャリア教育もその一つとなります。「東京書籍」は「プロに聞く!」「教育図書」は「センパイに聞こう!」、「開隆堂出版」は「先輩からのエール」による経験者からの声が届き、生き方や働き方の内容であり、キャリア教育につながります。「教育図書」の「センパイに聞こう!」は掲載数が少し劣りますが、各社工夫した構成となっております。「開隆堂出版」はその他にもLGBTQやヤングケアラー、里親制度など多様な立場を考える内容、SDGs、防災教育を含め、人権学習や道德との関連をもたせられる内容が設定されております。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 技術と家庭の採択について、技術分野は「東京書籍」、家庭分野は「開隆堂出版」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「外国語」の説明をお願いします。

学校教育課参事

外国語につきましては、115ページからをご覧ください。

それでは、外国語の各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まずは「東京書籍」です。

この教科書で特筆すべき点は各Unitの最後にUnit Activityが設定されており、Unitの題材に関する単元終末の活動に向け、段階的に学習活動が仕組まれております。総じて、すべての調査観点において十分に満足できる内容であり、教科書に沿って学習を進めれば無理なく自己表現活動へつながるなど、学習者はもとより指導者にとっても、使いやすい教科書であるといった意見がありました。

次に「開隆堂出版」です。

教科書の構成がユニークであり、単元で学ぶ新出文法を単元の最初ですべて扱っている点が特徴的です。新出の文法事項の導入に関して、「Scenes（シーン）」は2ページにまたがり、

マンガ形式の短い対話で新出表現を理解させる工夫がされています。マンガの対話の中で新出文法は赤字になっており、基本文が視覚的にも分かりやすいですが、ドリルなどの新出文法を使った練習が十分ではないように感じました。

次に「三省堂」です。

文法事項は「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の技能を使って学習できるよう工夫されており、次の「Scene（シーン）」で「読むこと」につないでいます。単元の題材として、「人権尊重」「世界平和」「環境」などについて扱っています。ただ、それに関する言語活動の設定がやや少ないように感じられました。

次に「教育出版」です。

各 Lesson 内にある「Key Sentence」のパターン練習を行ったうえで、聞く活動や話す活動が設定されています。また、学期末に行う「Project」では、ある情報をもとに自分自身の考えを書いたり、発表したりすることができるようになっています。その際、思考ツールのマッピングなどを使いながら自分の考えを整理することができるようになっています。ただし、「Project」の内容と、それまでの学習との関連性がやや弱いという意見がありました。

次に「光村図書」です。

主な特徴として、3年間を通して基本的に扱う英文が、中学校生活を舞台にしたダイアログ形式になっています。そのため生徒たちにとって、英語がより一層身近なものに感じられることが考えられ、自然な流れで文法事項について学習することができます。一方で、扱う英文がダイアログに偏重（へんちょう）しており、単元終末の活動との関連性が弱い点が気になります。

最後に「啓林館」です。

「話すこと」「聞くこと」「読むこと」の技能を高めるための活動が通常の Unit の他に設定されています。特にやりとりをする活動が比較的多く、「話すこと」の技能を使って身近な場面での会話が取り上げられています。デジタル教科書において、アニメーション映像やスライドショー映像があり、生徒の内容理解の視覚支援がされています。新出語句は、クリックすると和訳が出てくる工夫があり、発音と意味の習得ができるようになっています。文法事項の説明は丁寧であり、生徒の家庭学習を支援するものではありませんが、実際に発話をさせるような場面が不足しています。

調査をもとに協議した結果、外国語は「東京書籍」に決定しました。

以上です。

教育長

では、外国語の調査結果について質疑を受けたいと思います。

内記委員

先ほどデジタル教科書の説明がありましたが、「東京書籍」のデジタル教科書はどうなんでしょうか。

学校教育課参事

「東京書籍」のデジタル教科書は操作性が優れており、デジタル教科書のどの箇所をクリックしても音声が出るほか、QRコードからのコンテンツの内容が豊富です。文法解説動画は、実写とアニメのやり取りを取り入れるなどの工夫がみられ、自学自習や個別最適な学びに対応をしています。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 外国語の採択について、「東京書籍」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「特別の教科 道徳」の説明をお願いします。

学校教育課参事

特別の教科 道徳につきましては、126ページからをご覧ください。

それでは、道徳の各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

「東京書籍」は、情報モラルや防災、ごみ問題や高齢者問題、自然との共生など幅広く現代的な課題を取り上げ、様々な角度から内容項目と結び付けて考えられるように工夫されています。ただ、見開きで読み物等が完結していない教材もあり、次の教材が見開き左側にあることで、そちらに気がとられる生徒が出てくるのではないかという意見がありました。

「教育出版」は、

「やってみよう」では、直前の教材に関連した役割演技や体験的な学習が取り入れられています。あわせて終末の「学びの道しるべ」には学習したことを実生活にどのようにつなげていくかを考える発問が明快に設定されています。

ただし、巻末の「道徳科の学びを振り返ろう」のページで、振り返りができるようになってはいますが、項目によってはスペースが小さく、生徒が十分に振り返ることができないのではないかという意見がありました。

「光村図書」は、

現代的な課題のうち、人権と環境については、各学年でコラムとして取り上げています。いじめなどについても教材やコラム、「チャレンジ」などでユニットを組んでおり、多様な教材から考えられるよう構成されています。しかし、1ページ内の情報量が多い部分があると

いう意見や、教材によっては難度の高い読み物があるとの意見、見開きで読み物等が完結していない教材があるという意見がありました。

「日本文教出版」は、
2つのテーマ「よりよい社会を考える」「いじめと向き合う」を設定し、2～3の教材とコラムをまとめて学習できるよう、各学年5つのユニットが編成されております。ユニット「よりよい社会を考える」では、SDGsも踏まえ「自立と共生」「環境と未来」をテーマに現代的な課題について学べるよう編成されています。いじめ問題については、自分事として考えられるよう各学年複数回、実施時期を考慮してユニットが配置されており、直接的・間接的教材を用いて知識やスキルを身に付けさせる工夫がされています。多様性や環境問題等の現代的な課題についても充実した内容となっています。

「Gakken」は、
現代的な課題であるSDGs、多様性、キャリア教育などの視点に重点をおいて構成されており、複数の教材で連続して学べるよう、各学年3つのユニットが組まれています。また、「いのちを尊び、いじめを生まない」という考え方で、「いのち」を最重要テーマに設定しています。巻末には、日々の授業について気づいたことを記録する「学びのメモ」や学期ごとに振り返る「学びの記録」のページが設けられておりますが、スペースが小さく、使いづらいのではないかという意見がありました。

「あかつき教育図書」は、
各学年3教材ずつ「マイ・プラス」のページがあり、体験的学習や役割演技、話し合い活動を通して、多様な見方や考え方ができるよう工夫されています。また、図や写真も整然としており、読み物教材には登場人物のイラストによる説明がり、わかりやすいという意見がありました。ただし、巻末に各学期や1年間の振り返りができるよう「学習の記録」のページが設けられていますが、毎時間考えたことを記録に残す欄やワークシート等のツールがありません。

調査をもとに協議した結果、道徳は「日本文教出版」に決定しました。

以上です。

教育長

では、「特別の教科道徳」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木教育長職務代理者

今日の課題は様々ありますが、いじめ問題は非常に深刻であり、全力でいじめの未然防止に努める必要がございますし、現在も取り組んでいただいております。いじめの未然防止に道徳の学習は大きな役割を果たしており、必要不可欠な教科です。いじめの未然防止についてはいかがでしょうか。

学校教育課参事

「いじめ問題への対応」について熱心に協議されました。今回の教科書採択につきまして、令和3年4月からの学習指導要領全面実施後の採択であり、今期の学習指導要領（特別の教科道徳）の改訂の基本方針には、「いじめ問題への対応の充実」が示されております。第2採択地区観点としても「いじめ問題」等について取り上げられており、その内容について協議いたしました。

日本文教出版は、いじめ問題に関しては直接的なものだけではなく、間接的なものも含め複数の教材でユニットを構成し、スキルを身に付けるもの等、多彩な教材が学年ごとに3回用意されています。教材の配置についても、1年を導入期、発展期、充実期と段階を踏まえて計画されており、学級集団の成熟とともに、生徒に考えを深めさせることができるよう工夫がなされています。併せて日本文教出版には、いじめ問題に取り組む草津市内の中学校の事例も掲載されています。

教育長

特別の教科 道徳についての質疑は、以上でよろしいでしょうか。
それでは、令和7年度使用教科用図書 道徳の採択について、「日本文教出版」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「中学校特別支援学級」の説明をお願いします。

学校教育課参事

続きまして、中学校特別支援学級です。136ページからをご覧ください。
昨年度採択されていた図書の内2冊が供給不能になりましたので、一般図書から補充する図書の選定を中心に行いました。なお、2冊の内訳は、社会科1冊、理科1冊です。
特別支援教育においては、生徒の十分な学びを確保し、一人ひとりの生徒の障害や発達に応じた指導や支援を一層充実させていく必要があります。当採択地区内における知的障害学級に在籍する生徒の障害の程度は様々であり、支援の内容も多岐にわたっていることから、これらの生徒に可能な限り対応できることを念頭に、選定作業を行うこととしました。

次に139ページをご覧ください。

該当2教科の調査研究観点は各4点です。これらは、2024年度作成の県教育委員会の中学校特別支援学級・知的障害における教科用図書調査研究観点を参考に第二採択地区の観点を作成しました。

社会科、理科の内容は、それぞれに記載しているとおりでございます。

次に142ページに記載されている弱視学級の調査研究観点は、すべての教科通常学級の観点と同じとなっております。

次に143ページ「調査研究結果（知的障害学級）」をご覧ください。
滋賀県教育委員会の「選定に必要な資料」に掲載されている一般図書の一覧表を参考にして、候補となる図書について収集・絞り込み・協議を行った結果、後ほど説明いたします2教科2冊の図書を推薦することといたしました。

145ページの弱視学級につきましては、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書としました。

次に146ページ「学年別使用のめやす」をご覧ください。
今回推薦いたします図書を使用する学年のめやすは、社会科、理科とも中学1年から3年をめやすとしています。

弱視学級の「使用のめやす」につきましては、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書としました。

最後に、選定しました本について説明させていただきます。

152ページをご覧ください。
社会科は、西東社「小学生おもしろ学習シリーズ 完全版 日本の歴史人物大事典」です。
この図書は、これまで一般図書として使われていた「集英社の学習漫画 日本の歴史 人物事典」に代わるものです。

日本の歴史人物をわかりやすく紹介するという役割はほぼ変わらず、重要な人物272人を紹介しています。日本の歴史や偉人のことが楽しくわかり、各時代の人の想いや知恵がみえてくる構成となっており、これからの未来について考えを巡らせるのにふさわしい内容となっています。歴史という抽象的な内容の学習を、カラーマンガ・イラストで具体的にわかりやすく表現しているので、特別支援学級の生徒が学ぶのに効果的であると思われます。

続きまして、理科は小学館「小学館の図鑑 neo 野菜と果物」です。
この図書は、これまで一般図書として使われていた「母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室 野菜をつくろう」に古い表記が含まれるため、これに代わり新たに選出したものです。植物栽培に特化した内容ではありませんが、日本で食べられている主な野菜と果物など約700種類が最新の情報に基づいて紹介されています。私たちが健康で生きていくためになくはない野菜や果物の特徴や栽培方法、栄養、料理方法などが詳しく解説されています。それぞれの野菜について、さまざまな角度からの情報が満載で、何度も繰り返し読みたくなるような内容となっています。

以上です。

教育長

では、中学校特別支援学級の一般図書の調査結果について質疑を受けたいと思います。
実際は、子どもたちの発達段階に応じて、あるいは障がいの程度に応じて、様々な教材・教具を工夫して指導してくれていますので、基本的には報告をいただいたとおりでいいかなと

思っておりますが、ご質問、ご意見をいただきたいと思います。

教育長

ご質問、ご意見がないようなので、令和7年度使用教科用図書 中学校特別支援学級の一般図書の採択について、ご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「小学校特別支援学級」の説明をお願いします。

学校教育課参事

それでは、小学校特別支援学級の説明をさせていただきます。

154ページからをご覧ください。

今回は各種目廃判となる図書はありませんでしたので、知的障害学級の一般図書について、特に内容が現在にそぐわない社会科・地図から1冊と、保健1冊について、選定をし直しました。

続いて155ページから171ページまで、中学校特別支援学級の説明と同じになります。

次に163ページ「調査研究結果（知的障害学級）」をご覧ください。

滋賀県教育委員会の「選定に必要な資料」に掲載されている一般図書の一覧表を参考にして、候補となる図書について収集・絞り込み・協議を行った結果、後ほど説明いたします2教科2冊の図書を推薦することといたしました。

172ページをご覧ください。

社会科は、『なりたい！ わくわく！ おしごとずかん』です。

「なりたい！ わくわく！ おしごとずかん」は、子どもたちにとって身近な仕事を分かりやすく取り上げ、イラストや写真を効果的に使ってイメージしやすい構成となっていて、それぞれの仕事に特徴的な仕事内容や道具、仕事の工夫などについて簡単な言葉で解説されており、興味をもって学習に取り組むことができます。

しかしながら、職業におけるジェンダーへの配慮に欠けていることから、選定が見送られました。

続きまして、保健は「ドキドキワクワク性教育〈2〉大切なからだ・こころ」です。

この図書は、知的障害学級の児童が、自分の体や心がかけがえのないものであり、大切であることを学び、自分自身を大切にするとともに、自分のまわりの人も大切であることを学ぶことのできる図書です。「からだの成長」、「プライベートなところ」、「こころの成長」と大きく3つの項目にわけてまとめられており、それぞれの項目で、具体的な事柄や子どもたちの身近な場面を取り上げて示されているので、自分のからだやこころについて考えたり、気

づいたりできる内容となっています。イラストや平易なことばでわかりやすく示されており、子どもが興味関心をもって学ぶことができます。

以上です。

教育長

では、小学校特別支援学級の一般図書の調査結果について質疑を受けたいと思います。

田中委員

『なりたい！ わくわく！ おしごとずかん』について選定が見送られたとの報告でした。ジェンダーへの配慮とのことでしたが、常に意識をして欠けてはいけない配慮だと考えます。具体的にどのような意見があったのか教えてください。

学校教育課参事

調査の報告通り、分かりやすい図書でありましたが、一方の性別で描かれている職業が多くふさわしくないのではという意見がありました。一方の性別の役割として固定的な職業につながる図書では、選定は厳しいという意見です。検討の時間をとって協議をしたうえで、選定の見送りという決定にいたしました。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和7年度使用教科用図書 小学校特別支援学級の一般図書の採択について、ご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

これですべての種目について説明が終了いたしました。

それでは、議案第8号「令和7年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」お諮りします。

令和6年7月31日ならびに8月1日に開催された、教科用図書第二採択地区協議会における選定結果に基づき、令和7年度の栗東市立各小中学校使用教科用図書を採択することに異議ございませんか。

全委員

異議なし

教育長

異議なしと認め、議案第8号「令和7年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」は、承認されました。

以上で令和6年8月度栗東市教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会宣言 11：50